

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公開番号】特開2010-132736(P2010-132736A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-308068(P2008-308068)

【国際特許分類】

C 0 9 D	11/00	(2006.01)
H 0 1 B	1/20	(2006.01)
H 0 1 B	1/00	(2006.01)
H 0 1 B	5/16	(2006.01)
B 3 2 B	27/18	(2006.01)
H 0 1 B	5/14	(2006.01)

【F I】

C 0 9 D	11/00	
H 0 1 B	1/20	A
H 0 1 B	1/00	E
H 0 1 B	5/16	
B 3 2 B	27/18	J
H 0 1 B	5/14	Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

保護物質(A)によって被覆された導電性物質(B)と、1~4個の水酸基を有する炭素数1~9の化合物(C)とを含む導電性インキ。

【請求項2】

1~4個の水酸基を有する炭素数1~9の化合物(C)が、炭素数1~9の一価アルコール、多価アルコール、または、グリコールエーテルである請求項1記載の導電性インキ。

。

【請求項3】

導電性物質(B)が、平均粒子径0.001~10μmの導電性微粒子である請求項1または2記載の導電性インキ。

【請求項4】

請求項1~3いずれかに記載の導電性インキから形成される導電層(D)と、保護物質(A)に対するイオン交換能を有する物質(E)を含むイオン交換層(F)と、の積層によって、導電層(D)から形成されることを特徴とする導電性被膜。

【請求項5】

請求項1~3いずれかに記載の導電性インキと、保護物質(A)に対するイオン交換能を有する物質(E)とを含む組成物から形成されることを特徴とする導電性被膜。

【請求項6】

基材上に、請求項4または5記載の導電性被膜が設けられてなる導電性積層体。

**【手続補正2】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0007**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0007】**

また本発明は、1～4個の水酸基を有する炭素数1～9の化合物(C)が、炭素数1～9の一価アルコール、多価アルコール、または、グリコールエーテルである上記導電性インキに関する。

**【手続補正3】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0008**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0010**【補正方法】**削除**【補正の内容】****【手続補正5】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0011**【補正方法】**削除**【補正の内容】**